Panasonic

施工説明書
取扱説明書
保管用

SmartArchi

（一般屋内用）

リモコン自己点検機能付　非常用照明器具　階段通路誘導灯兼用型(電池内蔵型)

品番　FYY（H）43005

・左記（ ）内は加工品番です。
（以降、加工品番の記載を省略します。）

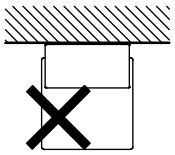
・器具の施工には電気工事士の資格が必要です。施工は必ず工事店に依頼してください。

施工説明　**工事店様へ、この説明書は保守のためお客様に必ずお渡しください。**

安全に関するご注意

⚠警告

●施工は、施工説明にしたがい確実に行う。　施工に不備があると落下・感電・火災の原因となります。
●器具を分解、改造しない。　落下・感電・火災の原因となります。
●表示された電源電圧（定格電圧±６%）・周波数で使用する。指定外の電源電圧・周波数で使用すると、感電・火災の原因となります。
●非常用光源部のレンズはガラス製のため、取り扱いに注意する。破損によるケガの原因となります。
●壁面取付専用です。他の取り付けはしない。　落下の原因となります。
●蓄電池を短絡・分解等しない。　破裂・火傷・感電・火災の原因となります。



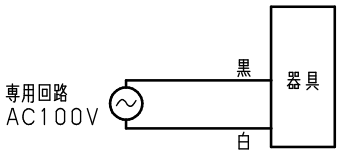
天井面取付

⚠注意

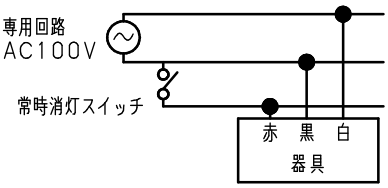
●この器具は一般屋内専用です。直接日光のあたる場所、湿気の多い場所、振動の強い場所、雨水のかかる場所、風の強い場所、腐食性ガスの発生する場所では使用しないでください。落下・感電・火災の原因となります。
●外の風が直接当たる場所では使用しないでください。落下・破損の原因となります。
●周囲温度は、５～３５℃で使用してください。
指定外の周囲温度で使用すると、蓄電池の劣化、ちらつきや短寿命及び非常点灯しない原因となります。
●一般屋内でご使用の場合でも、器具周囲に硫黄成分が存在する場所では使用しないでください。光学性能に影響を与える場合があります。
（一部の食品や薬品、紙類などには硫黄成分が含まれます。また、車の排気ガスにも硫黄成分が含まれます。）
●４８時間充電後→非常点灯の確認をしてください。充電しないと非常点灯しません。
●器具の取り付け取り外しは手袋など保護具を使用してください。けがのおそれがあります。
●この器具の電源は、専用回路にしてください。
●階段通路誘導灯として使用される場合、通常、連続点灯してください。常時、消灯して使用される場合は、事前所轄消防署の了解を得てください。消灯される場合は、自動火災報知設備との連動が必要なため、誘導灯用信号装置等を用いて消灯してください。

配線種類

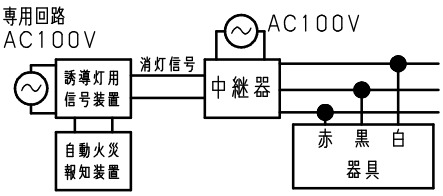
A．消灯なし（２線式配線）の場合



B．消灯あり（３線式配線）の場合
（非常用照明器具としてのみ使用）



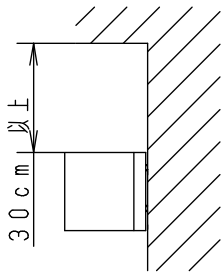
C．消灯あり（３線式配線）の場合
（階段通路誘導灯として使用）

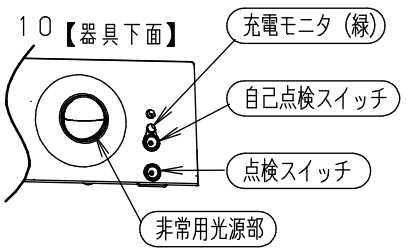


各部のなまえと取付方法

【施工条件】

注）天井面とは30cm以上離してください。
スペースがないとカバーの取り外しができません。



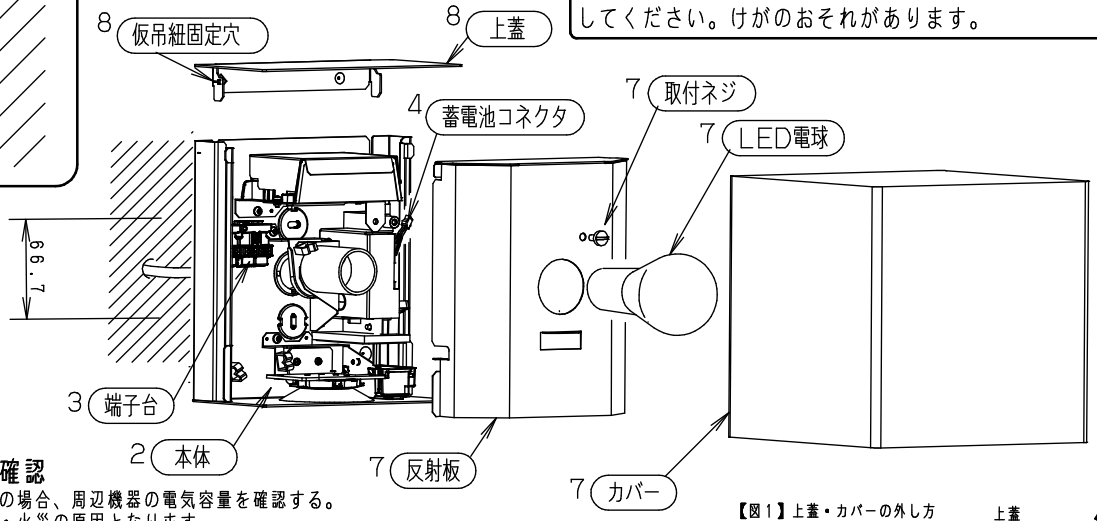


⚠警告

施工は、施工説明書にしたがい、確実に行う。
施工に不備があると、落下・感電・火災の原因となります。
LED電球を取り外す場合は、必ず電源を切る。
感電の原因となります。

⚠注意

器具の取り付け取り外しは手袋など保護具を使用してください。けがのおそれがあります。

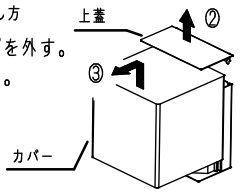


1 取り付け前の確認

- 既設器具取り替えの場合、周辺機器の電気容量を確認する。
  不備があると感電・火災の原因となります。
- 器具質量（2.2kg）に十分耐えれるよう、取付面の強度を確保する。
  不備があると器具落下の原因となります。
- ボックスに取り付ける場合は必ず丸穴カバー（DS4312）または器具用カバー（DS4511）を使用してください。
- 器具を包装箱から取り出し、上蓋、カバー、反射板を取り外す。
  上蓋、カバーの外し方は【図1】参照ください。

【図1】上蓋・カバーの外し方

①上蓋の包装用テープを外す。
②上蓋を持上げて外す。
③カバーを少し上にスライドさせ、手前に引く。

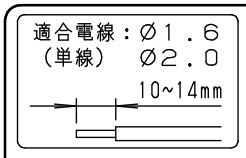


2 本体の取り付け

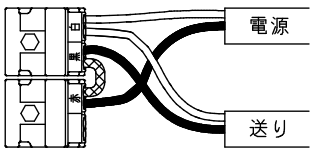
- 電源線を本体の電源穴から引き込む。
- 取付ネジ（2本：別途）にて本体を確実に取り付ける。
  推奨締付トルク（1.0N・m）
  取り付けに不備があると器具落下の原因となります。

3 電源線の接続

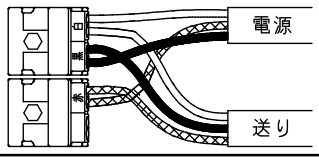
- 電源線は端子台に確実に接続する。
- この器具は、端子台での送り配線が可能です。
  （端子台の容量は20Aです）
  接続が不完全な場合や接続を間違った場合や容量オーバーした場合、感電・火災の原因となります。
- 常時消灯する場合は、短絡線を外してください。
- 常時消灯する場合は所轄消防署の了解が必要です。



●常時消灯しない場合の接続

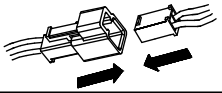


●常時消灯する場合の接続



4 蓄電池コネクタの接続

- 蓄電池コネクタの方向を合わせ確実に奥まで差し込む。
  接続が不完全な場合、非常点灯不良の原因となります。



5 設置年マークの貼り付け

- 器具内に貼り付けられている設置年マークの該当する年度を、器具の外郭に貼り付ける。

6 仮吊り紐の取り出し

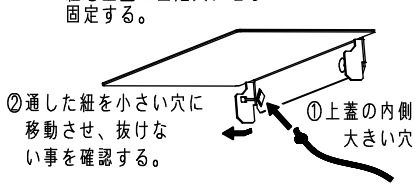
- 器具上側に固定されている仮吊紐を取り出し、右側から器具の外側に出しておく。

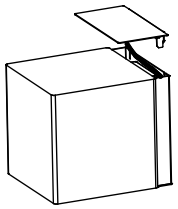
7 反射板、LED電球、カバーの取り付け

- 反射板、LED電球、カバーを確実に取り付ける
  反射板、カバーは外した時の逆の手順で取り付けてください。
  不備があると落下の原因になります。

8 上蓋の仮吊り、取り付け

- 器具から出してある仮吊り紐を上蓋の固定穴に通し固定する。
- 上蓋を器具に乗せる。
  上蓋が浮き上がらないよう、位置を合わせてください。





9 電源の通電

- 電源を通電させる。

10 点灯確認

- 電源通電状態で、LED電球及び充電モニタ（緑）が点灯するか確認する。
- 48時間充電後に点検スイッチを押し、非常点灯するか確認する。
  蓄電池は設置後通電し充電しないと非常点灯しません。
  正常に動作しない場合は（故障かな？と思ったときは）（最終ページ）をご確認ください。

取扱説明　**お客様へ、この説明書は必ず保管ください。**

・ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みのうえ、正しくお使いください。

安全に関するご注意

⚠警告

●器具を分解、改造しない。　落下・感電・火災の原因となります。
●カバーは樹脂製のため、取り扱いに注意する。破損によるケガの原因となります。万一、破損した場合、すぐに電源を切り交換してください。
●万一、煙が出たり、変な臭いがするなどの異常が発生した場合、すぐに電源を切り，工事店に修理を依頼する。そのまま使用すると、感電・火災の原因となります。
●ＬＥＤ電球を取り外す場合は、必ず電源を切る。　感電の原因となります。
●蓄電池を加熱したり、火や水の中へ入れたりしない。　破裂する危険があります。
●蓄電池は分解しない。　火傷、感電の原因となります。　電池内の液は、皮膚や衣類をいためます。
●蓄電池をショートさせない。　破裂、火傷、感電、火災の原因となります。

⚠注意

●シンナー、ベンジン、アルカリ系洗剤で器具を拭かないでください。　変色、変質、強度低下による破損の原因となります。
　水または中性洗剤を用いて、汚れた部分を軽く拭き取ってください。
●照明器具には寿命があります。（※１）
　法令に基づいて定期的に点検を実施してください。
　点検せずに長時間使い続けるとまれに落下・感電・火災などにいたる場合があります。
　ＬＥＤ電球は寿命が来ても、暗くなりますが点灯し続けます。点灯出来るからといって継続して使用が可能というわけではありません。
●長時間器具を使用しないときは、蓄電池は外してください。　蓄電池の劣化や短寿命の原因となります。
●１年に１回は「安全チェックシート」に基づき自主点検してください。３年に１回は工事店等の専門家による点検をお受けください。
　必要な場合は弊社営業所へお申し出ください。（チェックシート番号：ＣＬＸ２０２１ＨＡ）
　点検せずに長時間使い続けるとまれに落下・感電・火災に至る場合があります。
●ＬＥＤを直視しない。目の痛みの原因になることがあります。

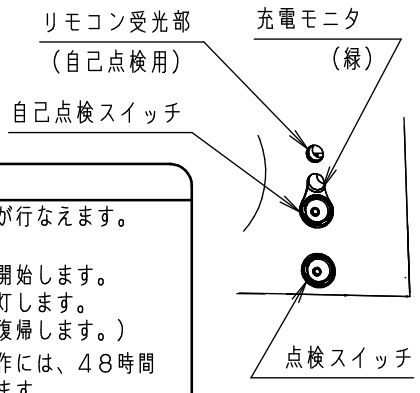
※１　照明器具は、使用条件、使用環境で異なりますが、８～１０年が取り替え時期の目安です。但し、蓄電池は、４～６年です。
　　使用条件は、周囲温度３０℃です。
■ＬＥＤ電球の光源寿命は、４０，０００時間です。
■周囲温度が高い場合などは寿命が短くなります。

使用上のご注意

・ラジオ、テレビや赤外線リモコン方式の機器は照明器具から離してご使用ください。
　雑音が入ったり、正常に動作しない場合があります。
・同時通訳機等の誘導無線をご使用になられる場合、雑音が入ることがあります。　事前に確認し、対策を講じてください。
・周囲温度が高い場合・点灯時間が長い場合などは寿命が短くなります。
・ＬＥＤにはバラツキがあるため、同じ品番のＬＥＤ電球でも光色・明るさが異なる場合があります。　予めご了承ください。

充電モニタ（緑）と自己点検スイッチについて

＜点検スイッチ部＞



自己点検スイッチ

・蓄電池の容量確認検査が行なえます。
　＜判定時間＞　３０分
・２秒以上押すと検査を開始します。
（充電モニタ（緑）が消灯します。
　検査終了後は自動的に復帰します。）
・自己点検スイッチの動作には、４８時間以上充電が必要となります。
　（４８時間以内に、３秒以上の停電・非常点灯があった場合は点検動作しません。）

充電モニタ（緑）

蓄電池が充電されているか確認できます。
また自己点検”可”のお知らせをします。

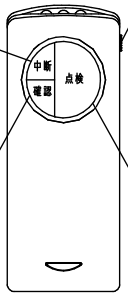
	緑色点灯	正常です。
	点灯しない	・蓄電池が充電されていません。 ・非常点灯になっていないか、または、蓄電池が外れていないかを確認してください。 ・リモコンの「点検」スイッチまたは「確認」スイッチを押した場合、点検“不可”をお知らせします。
	緑色点滅	蓄電池の交換時期の目安です。 蓄電池の容量低下や異常を緑点滅でお知らせします。
	約１秒間緑色点滅（４回）	リモコンの「確認」スイッチを押した場合 点検“可”をお知らせします。

取説No．FYY43005-T

自己点検用リモコンについて

適合リモコン品番：ＦＳＫ９０９１０Ｋ（別売）

スイッチ各部の名称と働き



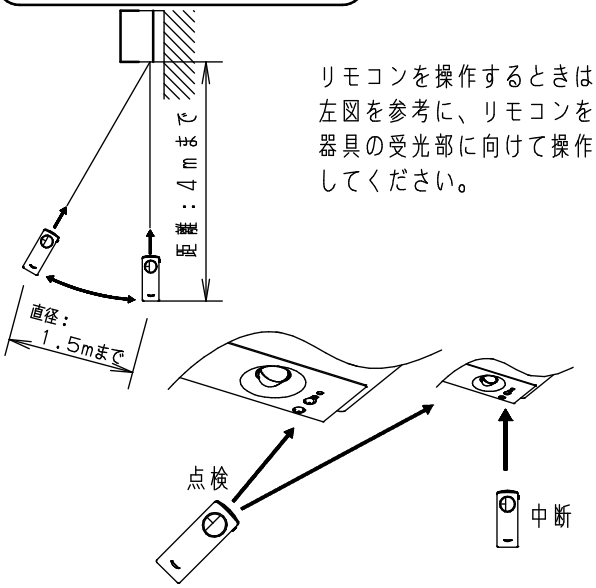
チャンネル
使用時、チャンネルは「2」にセットしてください。

「中断」スイッチ
点検動作を中断し、通常状態に復帰させるときに使用します。

1「確認」スイッチ
非常灯器具が４８時間の充電が完了しているかを確認するときに使用します。

2「点検」スイッチ
定格時間の非常点灯確認を開始します。（器具本体の自己点検スイッチを押したときも同様です。）

リモコン操作エリアについて



リモコンを操作するときは左図を参考に、リモコンを器具の受光部に向けて操作してください。

離れた位置からリモコンを操作する場合、隣接する器具も受信してしまうことがあります。その際は隣接する器具の近傍から、リモコンの「中断」スイッチを押して点検を中断してください。
※中断した場合は、再度４８時間充電が必要です。

リモコンによる点検方法

●チャンネルを「2」にセットしてください。
●充電モニタ（緑）が点灯していることを確認して下さい。

1 リモコンの「確認」スイッチを押してください。
【器具の充電モニタ（緑）を確認してください】
・充電モニタ（緑）が約１秒間点滅（４回）
⇒ 点検準備が出来ています。 2 に進んで下さい。
・充電モニタ（緑）が約１秒間消灯
⇒ 点検準備が出来ていません。４８時間以上充電して下さい。

2 リモコンの「点検」スイッチを押してください。
【器具の充電モニタ（緑）を確認してください】
・充電モニタ（緑）が消灯（非常点灯に切り換わります。）
⇒ 3 に進んで下さい。

3 蓄電池の容量確認が行えます。
（判定に３０分かかります。（長時間定格型は６０分））
【器具の充電モニタ（緑）を確認してください】
・充電モニタ（緑）が点灯 ⇒ 正常です。
・充電モニタ（緑）が点滅 ⇒ 蓄電池の交換時期です。

●途中で点検を中断する場合、
リモコンの「中断」スイッチを押してください。
【器具の充電モニタ（緑）を確認してください】
・充電モニタ（緑）が点灯（通常状態に戻ります。）

リモコンスイッチと器具状態の対応表

	器具の状態		
	充電中（充電時間４８時間未満）	充電完了状態（充電時間４８時間以上）	点検中
「点検」スイッチ	充電モニタ（緑）約０．５秒間消灯（光源が点灯）(注)	点検開始（充電モニタ（緑）点灯⇒消灯）	―（充電モニタ（緑）消灯したまま）
「中断」スイッチ	―（充電モニタ（緑）点灯したまま）	―（充電モニタ（緑）点灯したまま）	点検中断（充電モニタ（緑）消灯⇒点灯）
「確認」スイッチ	充電モニタ（緑）約１秒間消灯 (注)	充電モニタ（緑）約１秒間点滅（４回） (注)	―（充電モニタ（緑）消灯したまま）

―の場合は充電モニタ（緑）の状態に変化はありません。
（注）リモコンスイッチを押し続けると上記の状態を繰り返します。
（例：「確認」スイッチを押し続けると、充電モニタ（緑）が点滅し続けます。）

保証について

・保証について・・・・・この商品の保証期間は１年間です。但し、ＬＥＤ電球は２．５年間です。（階段通路誘導灯として２４時間点灯でご使用の場合）詳細は弊社カタログをご参照ください。
・保証書について・・・・保証書が必要な場合は、弊社代理店または弊社営業所へお申し出ください。
・補修用性能部品の保有期間・・・弊社はこの照明器具の補修用性能部品（電気部品）を製造打ち切り後、６年間保有しております。補修用性能部品には、同等機能を有する代替品を含みます。

お手入れ・部品交換

・器具の清掃について・・・・シンナー、ベンジン、アルカリ系洗剤で器具を拭かないでください。
変色・変質、強度低下による破損の原因となります。
水または中性洗剤を用いて、
汚れた部分を軽く拭き取ってください。

⚠警告

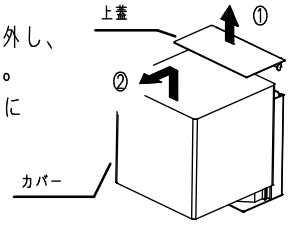
●感電のおそれあり
お手入れ時は、必ず電源を切ってください。
（非常点灯します。）
●カバー破損のおそれあり。
カバー、ＬＥＤ電球のカバーは樹脂製です。
取り扱いに注意してください。
●レンズ破損のおそれあり。
非常用光源部のレンズはガラス製です。
取り扱いに注意してください。
●やけどのおそれあり。
点灯中や消灯直後はＬＥＤ電球やその周辺をさわらないこと。

お手入れ・部品交換（つづき）

・部品の交換について・・・下記の指定された部品を使用してください

LED電球	蓄電池
LDA7N-D-G/S/Z6 (7.3W)	FK764 (4.8V 1450mAh)

【図1】



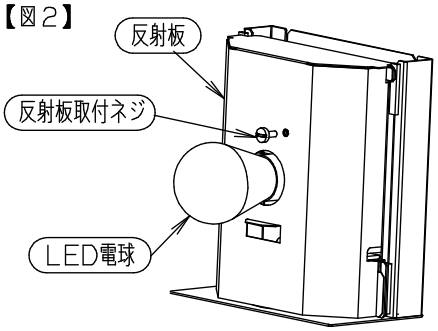
①上蓋を持上げて外し、仮吊り紐で吊る。

②カバーを少し上にスライドさせ、手前に引く。

LED電球交換方法

1．上蓋、カバーを取り外す。【図1】
2．LED電球を交換する。
3．外した時の手順と逆に取り付ける。

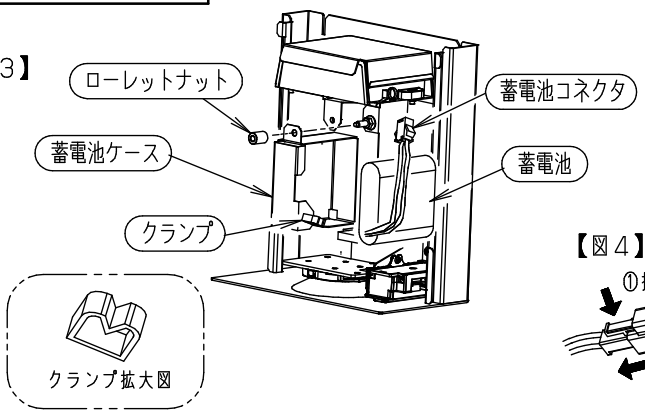
【図2】



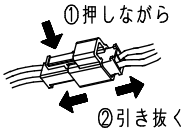
蓄電池交換方法

1．上蓋、カバーを取り外す。【図1】
2．LED電球，反射板を取り外す。【図2】
3．蓄電池コネクタを取り外し、ローレットナットを外し蓄電池ケースごと蓄電池を外す。蓄電池を蓄電池ケースから外し、交換する。【図3】、【図4】
4．外した手順と逆の手順で確実に取り付ける。この際に蓄電池ケースのクランプに蓄電池の電線を入れ込む。

【図3】



【図4】



◆定期点検　3ケ月に1回は、破損・変形などの外観の点検をおすすめします。
6ケ月に1回は、外観点検と機能点検を併せて行ってください。
（点検については、誘導灯は消防法令、非常用照明器具は建築基準法令に定められていますので必ず実施ください。）

◆設置年月日　　年　　月　　日　　◆取付場所＿＿＿＿＿＿　　◆器具No.＿＿＿＿＿＿

点検年月日	点検状態		点検者	点検年月日	点検状態		点検者	点検年月日	点検状態		点検者
	外観	機能			外観	機能			外観	機能	

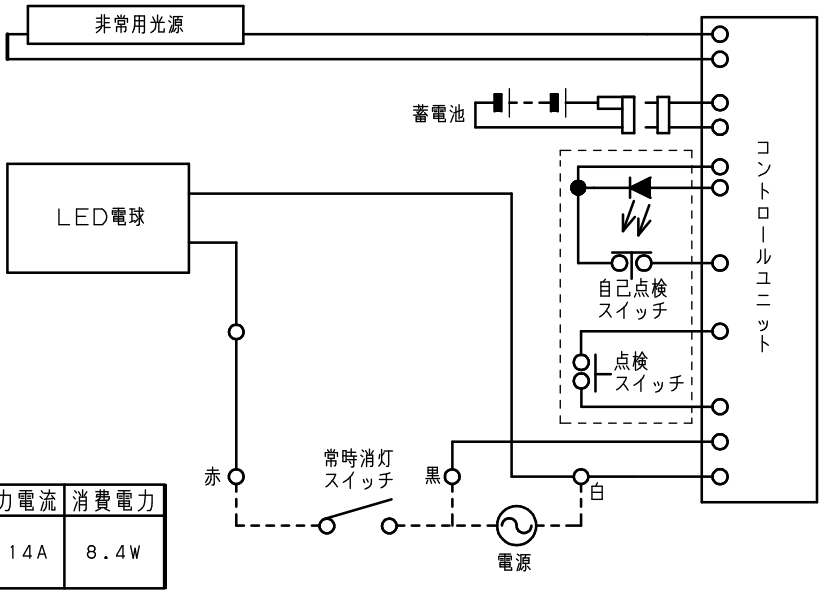
取説No. FYY43005-T

故障かな？と思ったときは

・表に従ってお調べいただき、なお異常がある場合は、すぐに電源を切り、工事店に修理を依頼してください。

現　象	考えられる原因	処　置
常時、ＬＥＤ電球が点灯しない	ＬＥＤ電球の寿命	ＬＥＤ電球を交換する
	ＬＥＤ電球の取り付けが緩んでいる	ＬＥＤ電球を確実に取り付ける
	常時消灯スイッチがＯＦＦになっている（3線式配線の場合）	常時消灯スイッチをＯＮする
非常点灯しない	蓄電池コネクタ外れ	蓄電池コネクタを接続する
	ＡＣ電源が通電状態となっていない	ＡＣ電源を通電状態とする
非常用光源が短時間しか点灯しない（３０分未満）	蓄電池の充電不足（保管時の自然放電や、施工時の放電など）	４８時間以上充電する
	蓄電池の寿命	蓄電池を交換する
充電モニタ（緑）が点滅している	蓄電池の寿命	蓄電池を交換する
充電モニタ（緑）が点灯しない	蓄電池コネクタ外れ	蓄電池コネクタを接続する
自己点検スイッチが動作しない	２秒以上押していない	自己点検スイッチを２秒以上押す
	４８時間以上充電していない	４８時間以上充電する
	４８時間以内に３秒以上の非常点灯、停電があった	
	４８時間以内に蓄電池コネクタを外した	
リモコンの点検スイッチが動作しない	４８時間以上充電していない	４８時間以上充電する
	４８時間以内に３秒以上の非常点灯、停電があった	
	４８時間以内に蓄電池コネクタを外した	

器具定格・接続図



品番	定格電圧	入力電流	消費電力
FYY43005	AC100V	0.14A	8.4W

Ni-MH

この器具は、”ニッケル水素電池”を使用しております。ご使用済みの”ニッケル水素電池”は貴重な資源です。
再利用しますので、廃棄しないで電池パックのまま充電式電池リサイクル協力店へお持ちしていただくか、
または”一般社団法人ＪＢＲＣ”に依頼してリサイクルしてください。

パナソニック株式会社　ライティング事業部　〒571-8686　大阪府門真市門真1048
お問い合せ先　パナソニック　照明と住まいの設備・建材お客様ご相談センター
0120-878-709(フリーダイヤル)　0120-872-460(FAX)